

Wealth gaps affecting school children in Iraq: UN

Lesson Plan (45分+発展活動)

本計画では、下記の3点を重視します。

- 新聞記事の要点を理解すること
- 報道の速度で話されている音声のリスニングに挑戦し、キーワードを聞きだすこと
- クラスメイトとのディスカッションにおいて、記事内容をもとに考えたことを自分自身の言葉で表現すること

Pre-Listening questions

[導入] (Listening/Speaking/Writing/Reading:10分)

導入として、本文のタイトルと見出し文を読み、キーワードとなる単語を内容を知っている単語から推測する。記事の内容と見出し文が、本文の内容を集約しているということを生徒と共有し、英語記事の構造について着目する機会をつくる。

このPre-listening questionsでは、生徒が内容を正確に把握しているかどうかよりも、単語からどのような意味を読み取ったか、単語同士がどのような関係を持つかに着目し、生徒同士で話し合う時間を持つとよい。例えば、massively(大規模に)がわからなくても、深刻度は大きそうか、小さそうか、というような話し合いや、war-ravagedがわからなくても、イラク戦争について知っているか、など、生徒に質問を投げかけることでこの記事の背景知識をクラス全体で深めることができる。

	あなたの予想 (解答例)	予想の根拠となる単語 (解答例)
When (現在?過去?未来?)	現在	Warns, is massively affecting (現在形だから)
Where (どの国?地域?)	イラク	In Iraq, in war-ravaged Iraq
What (主題は何?)	貧富の差、経済格差、子どもの教育	Wealth gaps, economic inequality, children's education
Why (何が原因?)	戦争	War, war-ravaged
Who (誰についての話?)	子ども	Children
How (どのくらいの影響?)	大規模に	massively

Question

[単語の意味確認をする](Reading : 10分)

生徒が単語の意味を知らない場合には、英和辞典を使用して意味を確認するよう指示する。日本語の意味が分かったところで、各単語の英語の定義を読み、意味を確認する。答え合わせをする際には、その語がほかの品詞でどのような単語になるか(名詞 youth は形容詞 young) や同義語(形容詞/名詞 juvenile)や反義語(名詞 adult)なども確認すると語彙力を強化できる。

1. 下記の単語は文章中の青字の抜き出しです。単語と意味を合わせましょう。

Inequalities (n), youth (n.), uneducated (adj.), crisis (n.), illiterate (adj.), unemployed (adj.), demographic (adj.)

※(n)は noun(名詞)、(adj.)

は adjective(形容詞)を示す

- | | |
|---|---------------------|
| 1. Having and showing a poor level of education | <u>uneducated</u> |
| 2. A time of intense difficulty or danger. | <u>crisis</u> |
| 3. Difference in size, degrees, circumstances | <u>inequalities</u> |
| 4. without a paid job but available to work. | <u>unemployed</u> |
| 5. Relating to the structure of populations. | <u>demographic</u> |
| 6. The period between childhood and adult age | <u>youth</u> |
| 7. Unable to read or write | <u>illiterate</u> |

[録音を聞く] (Listening:5分)

リスニングは、ゆっくりの音声またはノーマルスピードの録音を複数回聞き、割合を示す表現の書き取りをさせる。最後に字幕・音声付映像を見て、答えを確認する。

2. 録音を聞き、本文中の割合を表す表現を聞き取り、本文中の下線部(1)~(4)に書きましょう。

(1) 92

(2) 54

(3) One quarter

(4) a third

[精読する] (Reading:5分)

イラク全体と、貧しいコミュニティの対比をしてまとめることで、内容理解を深めることを目的とする。生徒のレベルによっては、ペアやグループワークを活用すると理解の手助けになる。問題文は、本文を読むように指示しているが、生徒のレベルによっては、本文ページを隠して、ゆっくりの録音を複数回聞き、貧しいコミュニティの現状について聞き取ったあとに、本文を読んで再度確認するという手順をとることもできる。

3. 本文を読み、貧困のコミュニティの現状についてまとめましょう。

イラク全体	貧しいコミュニティ
(1) _____%の子どもたちは初等教育の受ける機会がある	・学校教育を終えるのは54% ・貧しく且つ早い段階で学校に行かなくなるから学歴がなく、仕事もない。 ・イラクの一部の地域では4分の1の若者が読み書きできず、3割が無職

[内容の細部を確認する] (Reading: 5分)

対比してまとめた内容に加え、細部まで理解できているか確認をする。個人で取り組んだ後、ペアで答えを確認し、あっている場合にはどこに書かれているのか、異なる場合にはどこが違うのかを共有してもらう。全員が終わったところで、クラスで答えを共有する。

4. 本文中の内容とあっているものには○、異なるものには×をつけましょう。

- a. イラクにおいて初等教育を受けることができない子どもは、全体の8パーセントである。○
- b. 中東地域において、約4分の1の若者は読み書きすることができない。×中東地域でなく、イラクの一部地域(certain pockets around the country)
- c. ホーキンス氏によれば、イラクの一部の地域において、職を持つ若者の割合は約3割である。×職を持っていない若者が約3割
- d. 貧しい家庭に生まれた子どもは、早い段階で学校教育から離れることが多く、結果として学歴がなく、仕事を持つことができないという状況がある。○

[内容を自分自身の言葉で表現し、グループで発表・議論する](Writing/Speaking/Reading/Listening:10分)

他の生徒に自分の答えを発表することで、内容理解できているかの確認ができるだけでなく、勘違いに気付いたり、知らない表現に触れる機会をつくる。本文を引用して話すのではなく、理解した内容を知っている単語で分かりやすく表現するよう生徒に促す。また、Firstly, Secondly, などの言い回しをクラスで共有しておくことも有効と思われる。

5. 本文中の太字”double whammy”という表現があります。辞書によれば意味は下記のとおりです。

Definition of double whammy by Merriam-Webster online

: a combination of two usually adverse forces, circumstances, or effects

(1)本文中において、何が double whammy なのでしょう。
あなたの考えを英語で書いて表現してみましょう。

例：Poor children in Iraq have difficulties in two ways. Firstly, they suffer from poverty. Secondly, they cannot continue their education and eventually they cannot get any jobs.

(2)下の表現を参考にして、(1)で書いた自分の考えを発表し、他のクラスメートの考えを聞いてみましょう。
自分の考えを表現する際、下記の表現を参考にしてみましょう。

In my understanding, “double whammy” means that… 私の理解では”double whammy”が意味するのは…
I agree(disagree) with Aさん about the idea about… …の考えについてAさんに賛成(反対)です
I have a different opinion/idea about… …の考えについて、違う意見があります。
Firstly/First of all まず最初に
Secondly 二つ目に
Next 次に According to the article, it says… 記事によれば…とあります

【本文訳】

イラク：貧富の格差が子どもたちの教育に与える影響

ユニセフは、戦争で荒廃しているイラクにおける教育格差を指摘している。
当機関の研究においては、経済的な格差が子どもたちの教育に及ぼす甚大な影響を警告している。

イラク事務所代表のピーターホーキンス氏はこのように述べている。

「現在イラクでは、92パーセントの子どもが初等教育にアクセスできるものの、貧困地域においては若者の54パーセントしか初等教育を終えていません。つまり二重苦なのです。貧しく、学校教育から早い時期に退き、教育を十分受けていない結果、仕事を得ることができないのです。教育の機会が運命の分かれ目になっています。イラクの一部地域においては、若者の4分の1は文字の読み書きができず、3分の1の若者は仕事がありません。つまりは、若者の危機であり、若者層における危機なのです。」

ユニセフの研究は、イラクでは新たに学校7,500校の設立が必要であるとも指摘している。